

■H25.7.23 勉強会<原地区>第5回 傍聴者アンケート結果(公開「可」の記載があったアンケート)

No	本日の勉強会についてのご意見	PI プロジェクトに関するご意見
1	<p>傍聴席と討議グループとの間が近かったので、討議の内容が聞き易く、この会場のセッティングは良いと思いました。</p> <p>代替案について、住民は元から病院、運動公園、花公園の話を出していましたが、実現できれば貨物駅より沼津市民の為に良いと思いました。</p> <p>代替案のA案は、貨物駅の周囲に医療福祉施設等を併設されていますが、環境的に無理だと思います。(両立できない)</p>	
2	<p>これ以上原で勉強会をしても新しい案が出るとは思えません。</p>	<p>何が何でも反対と主張している人を、これからどうまとめていくのでしょうか。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各メンバーの理解度にバラツキが有り過ぎる。メンバーの選定</li> <li>・双方の意見に十分耳を傾け、より良い方向に持っていかなければならないのに・・・どうも進歩が見られない。⇒双方の意見が並行線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政再建が至上命題の日本にとって、効果のない公共事業はやってはいけないことは当然のことである。</li> <li>・今沼津にとって、真っ先にやらなければならないことは、沼津駅周辺の人の流れをスムーズにもっていくことだと考える。(各種ハコモノが完成に近づいている為)</li> <li>・駅周辺の都市計画等の変更をせずに、直ちに実施出来るものとして、暫定南北自由通路(地下道)を提案したい。</li> <li>・原地区についていろいろ案があるが、何れにしても金(財源)がない中では、市民がそれら計画を共有し、協働して対処していくことが求められる。⇒C案</li> <li>・沼津市民への広報に注力を希望する。(沼津市当局へ)</li> </ul>
4	<p>活発な意見の交換は良いが、実現性も加味(現状の常識をふまえた)して、発言させるべきである。</p> <p>例えば、貨物列車の長さも知らずに発言していたら、県職員が教えてやる事。</p>	<p>グループ分けにおいて、公平性の配慮が必要。分かなければ、関係者に相談すべきである。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原A案、B案、C案の概算事業費、事業主体はどうなるのか資料からはわかりません。それらも表示する必要がありますが、どうでしょうか。</li> <li>・貨物駅があるA案、健康福祉的B案のメリットとデメリットを明確にすることも大事。—原地区に貨物駅は本当に必要な施設なんでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原地区の出された意見は、合同勉強会で報告していただきたい。原地区の考え方が大事であり、それを踏まえた上で、沼津駅周辺のまちづくりを考えるべきだと思う。</li> <li>・戦略案の組合せを考える上で、原の意見を報告してもらいたい。</li> </ul>
6	<p>道の駅はOKだが、貨物駅はNGという声も聞こえたが、車の方がよほど公害を排出しているのではないかな。</p> <p>もっと建設的な意見がほしいと感じた。</p>	<p>多くの方が、結論は出ないと言っていた。知事が結論を導き出すよう、方向性を示してあげて下さい。</p>